

インタフェース仕様書

市町村編

【抜粋版】

平成24年4月

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
21	合計2(通院介護(伴う)、同行援護(伴う))	内訳 100%	数値	5	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
22		内訳 70%	数値	5	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
23		内訳 重訪	数値	5	重度訪問介護研修修了者による時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
24		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
25	合計3(家事援助)	内訳 100%	数値	5	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.25→09925(または9925)	
26		内訳 90%	数値	5	3級ヘルパー等、または重度訪問介護研修修了者による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.25→09925(または9925)	
27		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.25→09925(または9925)	
28	合計4(通院介護(伴わず)、同行援護(伴わず))	内訳 100%	数値	5	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
29		内訳 90%	数値	5	3級ヘルパー等、または重度訪問介護研修修了者による実績時間数を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
30		合計 算定時間数計	数値	5	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5→09950(または9950)	
31	合計5(通院等乗降介助)	内訳 100%	数値	3	1・2級ヘルパー等による実績回数を設定	
32		内訳 90%	数値	3	3級ヘルパー等、または重度訪問介護研修修了者による実績回数を設定	
33		合計 算定回数計	数値	3	算定回数の合計を設定	
34	提供実績の合計	算定 移動介護分	数値	3	移動介護の時間数を整数部2桁+小数部1桁で設定(例:10.5時間→105)。移動介護の時間数が100時間を超える場合は999を設定(例:100時間→999)。 なお、サービス提供年月が平成21年3月以前の実績記録票は、移動介護の時間数を整数部3桁で設定	
35		実績 送迎加算(回)	数値	2	片道単位の送迎回数を設定	
36		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定	
37		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数値	2	家庭連携加算の算定回数を設定	
38		合計 算定日数(日)	数値	2	算定日数の合計を設定	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
14	児童情報	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名カナを設定する	◎	
15		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
16	障害程度区分情報	障害程度区分コード	英数	2	設定しない		
17		障害程度区分認定有効期間(開始年月日)	コード値	8	設定しない		
18		障害程度区分認定有効期間(終了年月日)	コード値	8	設定しない		
19	利用者負担上限額情報	所得区分コード	英数	2	決定された所得区分コードを設定する	◎	※C
20		個別減免有無	コード値	1	個別減免の有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
21		生保移行防止有無 (定率負担)	コード値	1	生保移行防止有無を設定する	◎	1:無し 2:有り
22		利用者負担上限月額	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	
23		利用者負担上限月額有効期間 (開始年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の開始年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
24		利用者負担上限月額有効期間 (終了年月日)	コード値	8	利用者負担上限月額の有効期間の終了年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
25	補足給付情報	補足給付有無	コード値	1	1:無しを設定する	◎	
26		生保移行防止有無 (補足給付)	コード値	1	1:無しを設定する	◎	
27		補足給付額(日額)	数値	4	設定しない		
28		補足給付有効期間 (開始年月日)	コード値	8	設定しない		
29		補足給付有効期間 (終了年月日)	コード値	8	設定しない		

⑦ 補装具費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	07を設定する(補装具費支給レコード)	◎		
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消	
5	算定年月	コード値	6	補装具を支給決定した年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の都道府県等番号、または受給 者証記載の市町村番号を設定する	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号を設 定する	◎	※C ※3	
8	受給者証番号種別	コード値	1	受給者証番号の種別を設定する	◎	1:障害者 自立支援 法に基づ く受給者 証番号 2:児童福 祉法に基づ く受給者 証番号 ※4	
9	補 装 具 情 報	氏名(漢字)	漢字	40	氏名(漢字)を設定する	△	
10		郵便番号	コード値	7	郵便番号を設定する	△	
11		住所(カナ)	英数	75	住所(カナ)を設定する	△	
12		住所(漢字)	漢字	128	住所(漢字)を設定する	△	
13		電話番号	英数	15	電話番号を設定する	△	
14	利用者負担上限月額	数値	6	補装具の利用者負担上限月額を設定する	◎		
15	利用者負担額	数値	6	補装具の利用者が負担した金額を設定する	◎	※5	

- ※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
- ※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1)入力識別番号一覧」参照。
- ※3: 障害者の場合は、本人の受給者証番号を設定する。なお、障害者の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び地域相談支援給付費を併給しており、それぞれの受給者証番号が異なる場合は、障害福祉サービス費の受給者証番号を設定する。
障害児の場合は、保護者の受給者証番号を設定する。なお、障害児の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、いずれかの受給者証番号を設定する。
- ※4: 障害者で障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。
障害児で児童福祉法に基づく障害児給付費を受給している場合は、「2」を設定する。障害児で障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。なお、障害児の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、「1」、「2」のいずれかを設定する。
- ※5: 利用者が補装具の総費用額を全て自己負担し、償還払いとなるケースの場合、総費用額を設定するのではなく、本来利用者が負担すべき費用を設定する。
- ※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。
- ※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。
- ※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。
- ※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

(2) レコード項目

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
					K122	K221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	
4	給付実績情報作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	◎	1:現物 2:償還 ※5
6	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
8	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号	◎	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
11	助成自治体番号	コード値	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定する	○	○	※C
12	給付決定保護者氏名カナ	英数	25	給付決定保護者カナ氏名	△	△	
13	給付決定に係る障害児氏名カナ	英数	25	給付決定に係る障害児カナ氏名	△	△	
14	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	◎	※C
15	就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	コード値	1	設定しない			
16	利用者負担上限月額①	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	◎	
17	就労継続支援A型減免対象者	コード値	1	設定しない			
18	障害程度区分コード	英数	2	設定しない			

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
						K122	K221	
36	特定入所障害児 食費等給付費(合計)	算定日額	数値	4	設定しない			
37		日数	数値	2	設定しない			
38		給付費請求額	数値	5	設定しない			
39		実費算定額	数値	6	設定しない			
40	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y
41	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:必須入力(入力識別番号毎) ◎:必須、○:請求内容により必須、△:任意設定、空白:不要

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1.3.2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3:整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4:“1”: 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※5:都道府県等保有給付実績情報を国保連合会に提出する場合は、2:償還を設定する。

また、市町村で基準該当事業所の請求について受領委任払いの運用を行っている場合も

2:償還を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 都道府県編 IV. 給付実績交換処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

③ 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	※3
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	サービスコード	コード値	6	サービスコード6桁	◎	※C
10	単位数	数値	6	サービスコードごとの単位数	◎	
11	回数	数値	3	サービスコードごとの回数	◎	
12	サービス単位数	数値	9	サービスコードごとの算定額	◎	
13	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

なお、障害児給付費国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1.3.2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。